

移住のカタチ

きちゃった!♡南伊勢



このコーナーは移住定住コーディネーターが南伊勢町へ移住された方（I・U ターン）や移住者を受け入れる側を取材して紹介していくコーナーです。

今回はIターン者を紹介する「きちゃった南伊勢」です。



移住定住コーディネーター
にし かわ もも え
西川 百 栄

今月は河内の^{しらね なおき}白根 直樹さんを紹介します。白根さんは愛知県出身。南伊勢町地域おこし協力隊として、町内に2で繁殖牛の移動放牧を行っています。



地域おこし協力隊の白根さん

西川：白根さん、こんにちは。今日は道行竈の遊休農地で仕事をしてお聞きして、放牧の見学もかねてやってきました。インタビューよろしくお願いします。

白根さん：よろしくお願いします。ちょうど牛の世話をしている時間なのですが、牛の近くに行ってみますか？（撮影の為、特別に許可を得て柵の中へ入らせていただきました）

西川：牛は見当たらないですけど、どこにいるのかなー？

白根さん：今は奥の方で休んでいますね。黒毛和牛のメスが2頭いるんですが、お腹の中に赤ちゃんがいて、10月と11月にそれぞれ出産予定です。

西川：（牛にそーっと近づいていく）近くで見ると大きいですね～。目が可愛い～。

白根さん：はい。「ゆき」と「まき」という名前がついています。こうして遊休農地で放牧を行う「実証試験」をしています、道行竈では3週間滞在する予定です。（9月15日迫間浦へ移動しました）

西川：町内を周回していくのですね。遊休農地の解消にもなるし、生まれた子牛を出荷することで収益を得て若者の就業（農業）へつなげていくと聞いたのですが、白根さんは今、牛の世話の他にどんなお仕事をされているのですか？

白根さん：迫間浦を拠点に放牧をしていて、私は今、朝夕方に牛の世話、飲み水の管理やエサとなる牧草の栽培をしています。今後は林業の研修も予定しているんです。

西川：動物を相手に大変な仕事でしょうね。白根さんは4月から協力隊として活動されていますが、何がきっかけで協力隊になったのですか？以前はどんなお仕事をされていたのですか？

白根さん：名古屋の郵便局で働いていました。職場の上司がたまたま南伊勢の出身の方で、協力隊の募集の事を教えていただいたのがきっかけでした。農業系の大学を出て、以前から遊休農地の事には関心がありましたので応募しました。

西川：なるほど。とはいえ、牛のお世話とか経験はなかったでしょうし、応募するのにも相当決意があったのではないかなと思います。

白根さん：動物は好きなので、抵抗はなかったです。でも生き物を育てる、という責任は感じています。今は指導員の方に教わりながら、仕事を覚えているところです。

西川：頑張ってください。また、放牧地に寄らせてもらって牛に会いに来ますね！

繁殖牛の移動放牧の「実証試験」が近くである際は、ぜひお立ち寄りください。とのことでした。もうすぐ子牛も生まれるようですし、牛たちが人気者になるといいなと思います。

問い合わせ先 まちづくり推進課 若者定住係 ☎0599-66-1366



牛（ゆき&まき）と一緒に